

実施日：平成28年10月12日(水)	
領 域：教科(生活科)	
取組名：赤ちゃん先生	
対 象：2年	実施場所：多目的教室
ア ねらい 赤ちゃんとの触れ合いを通して、命の尊さや親に大切に育てられた自分の存在について気づかせる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要  <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんに触れ合ったり、手足の大きさを比べたりする。</li> <li>・赤ちゃんとお世話の話の話を聞く。</li> <li>・ひとりひとりの児童に合わせて、抱っこしたり手足を触ったりすることで、赤ちゃんの小ささとかかわいさを感じる。</li> <li>・母親から、自分が赤ちゃんだった時の妊娠や出産の様子を聞き、「いのち」について考える。</li> </ul>	
ウ 連携先：NPO 法人 ママの働き方応援隊	
エ 連携にむけての取組  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ママ講師と事前打ち合わせをし、活動の目的や方法について話し合う。</li> <li>・活動後、ふりかえりをする中で、今後の活動に生かせるようにする。</li> </ul>	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任以外の教職員にも参加してもらい、多くの目で児童の様子を観察する。</li> </ul>	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の行動や発言内容を観察する。</li> <li>・事後のふりかえり(絵日記)を書かせる。</li> <li>・ママ講師からの感想をいただく。</li> </ul>	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループで赤ちゃんに触れ合うことで、児童は赤ちゃんのつぶらな瞳や小さな手足を触ったり見たりして、赤ちゃんのかわいさと小ささを感じ取っていた。</li> <li>・赤ちゃんのお世話の話を聞いて、どれだけ親の世話になっていたか少しは理解できた。</li> <li>・お母さんたちから直接お話を聞くという貴重な体験ができた。</li> <li>・児童の感想を読むと、自分たちも数年前赤ちゃんだったことを思い出し、自分の成長を改めて感じていた。</li> </ul>	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、時数や行事の関係などで、全6回シリーズのうち1回だけしか体験できなかった。今後、段階的に赤ちゃんの成長を見たり、触れ合いを深めたりするために、全6回シリーズを検討していきま。</li> </ul>	